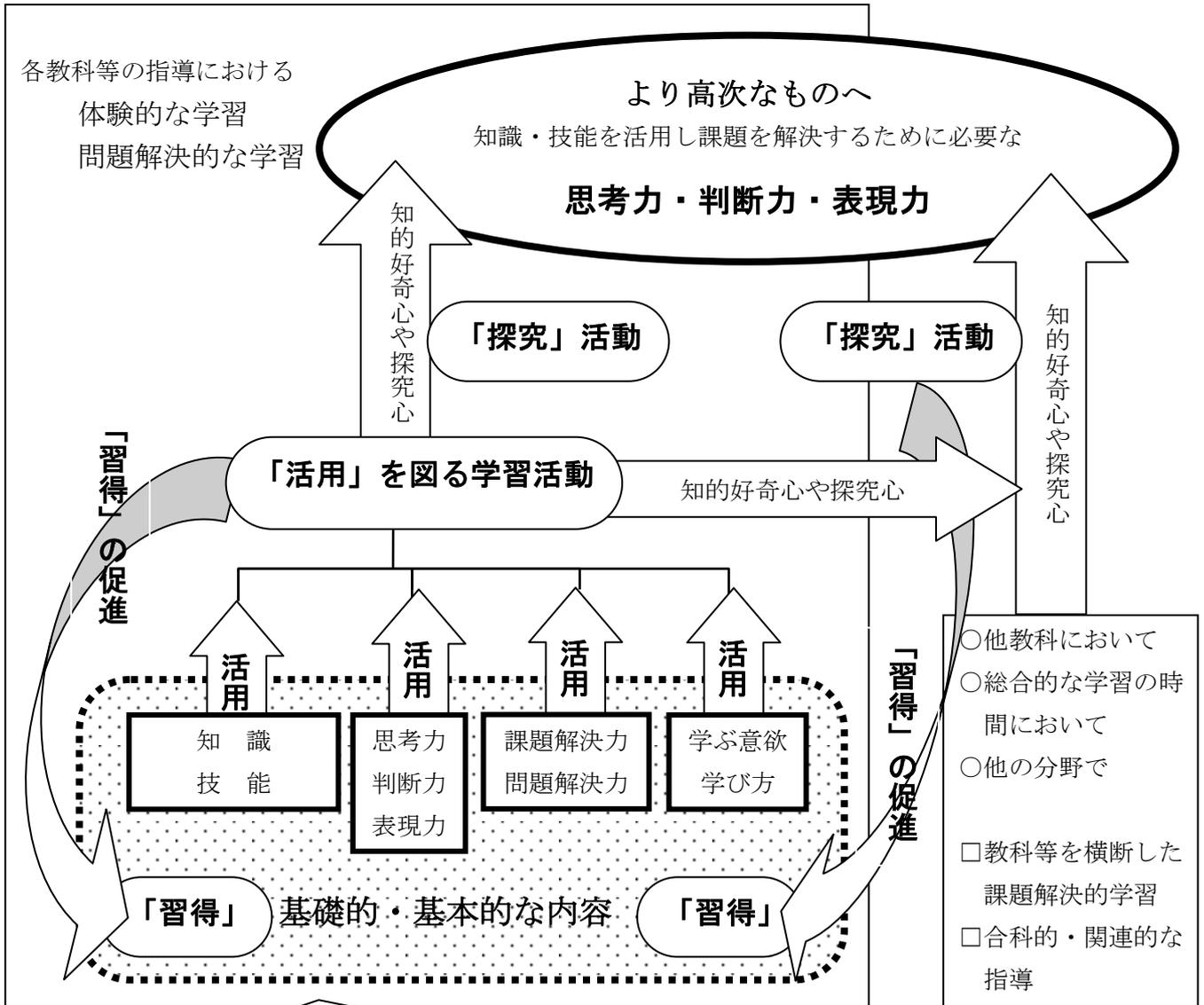


(1)算教科における授業改善のコンセプトを意識する

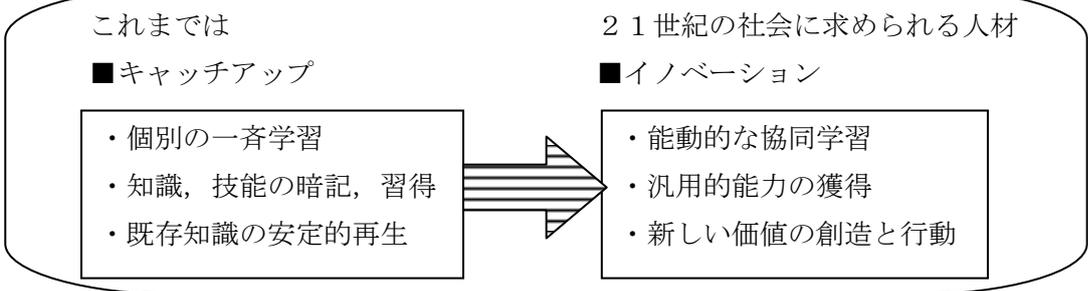
①まず教師の意識改革を行う



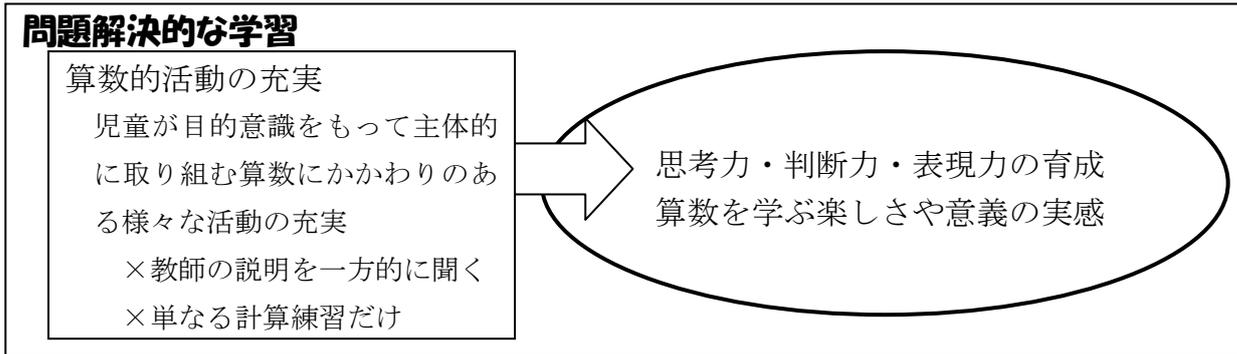
○「2011 年入学児童の就職先の65%は現在ない職業（米：キャッシャー・デビットソン）です。かなり劇的に変わる。3人に2人は今ない仕事に就きます。今まで自分が受けた教育でいいはずがない。」

○「発想の転換。今までの価値観のチェンジが必要です。」

文科省調査官・国立教育政策研究所調査官 田村 学氏

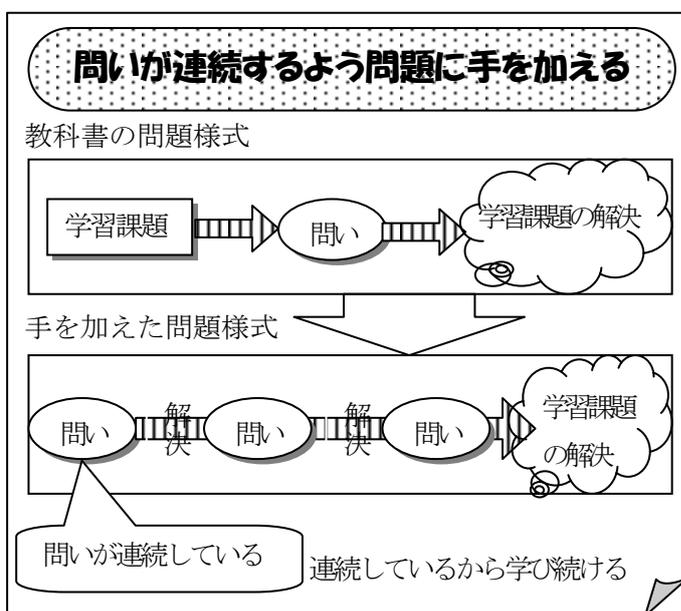
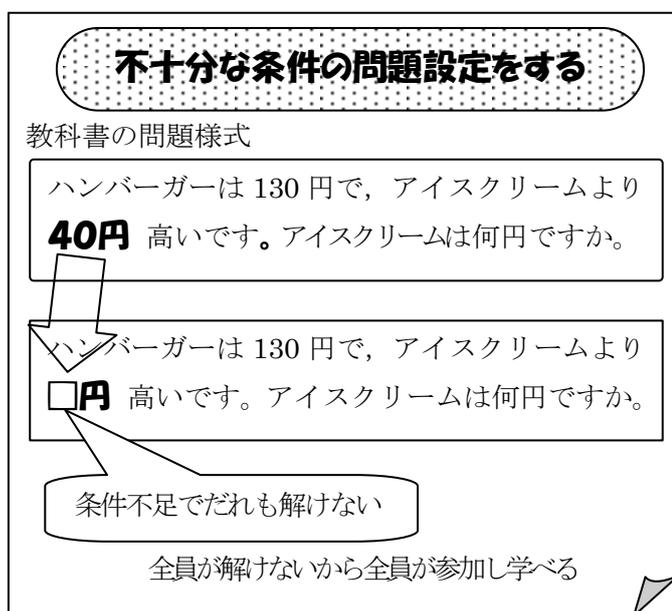


②算数的活動の充実とは問題解決的な学習の実践とつながる

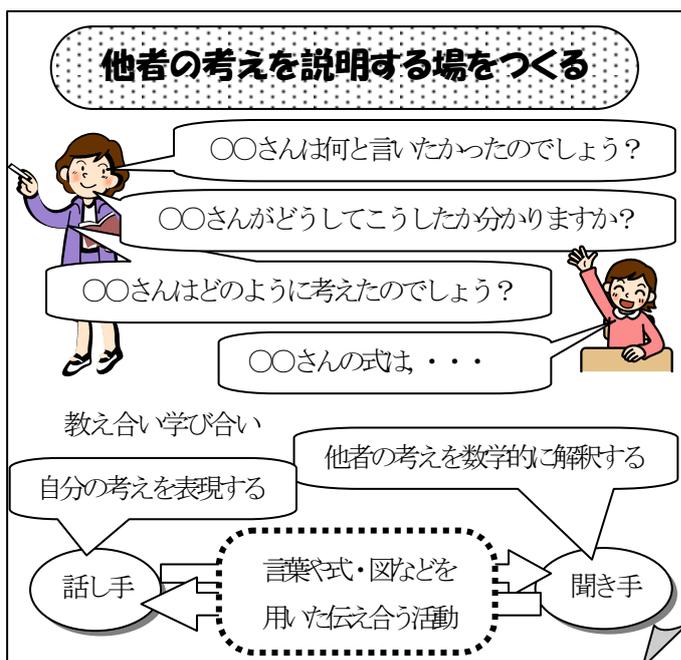


(2)「全員参加の算教授業」づくりを積み重ねていく

①子どもがしゃべりたくなる工夫をする

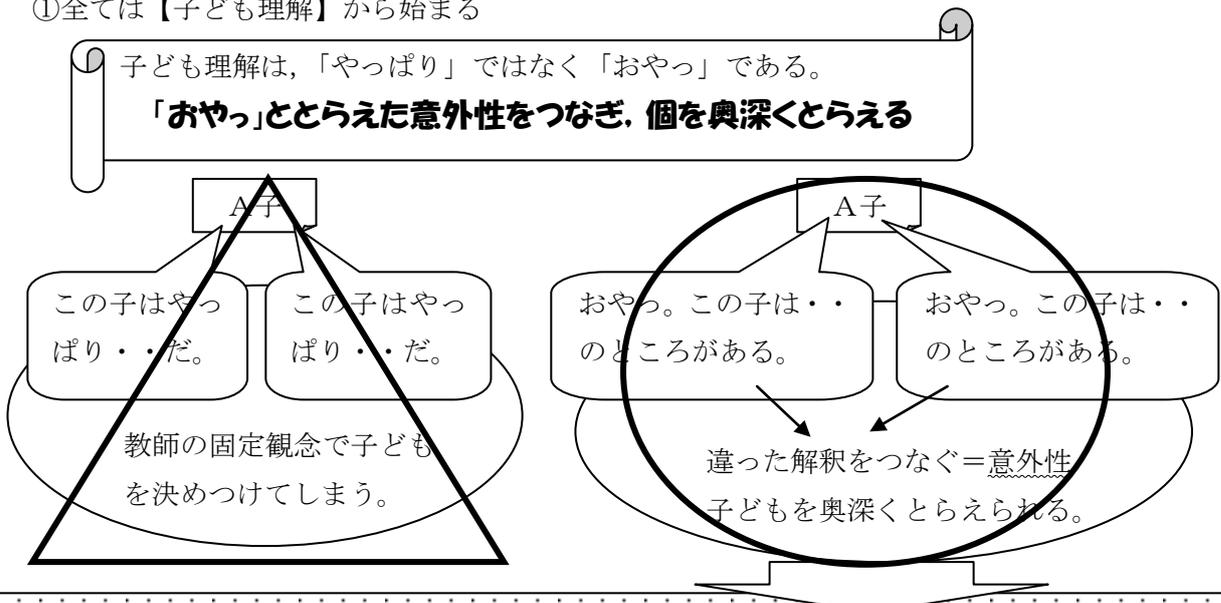


②子ども同士の教え合い学び合いの場をつくる



(3) 教科指導を支える質の高い学級集団づくりを行う

① 全ては【子ども理解】から始まる



問題解決的な学習を積み重ねていく

質の高い学級集団

- ・相互に聞き合い認め合う学級
- ・共に伸びていこうとする学級
- ・温かい仲間意識のある学級

教科指導の充実⇒豊かな学び・確かな学力

本日公開授業（第5学年）の主張

「子どもの発言が繋がる授業」

- ・子どもが＜しゃべりたくなる工夫＞
- ・子ども同士の＜教え合い学び合いの場＞
- ・温かい仲間意識のある学級づくり

② 教師の実力は【日々の授業力】にこそある

授業は真剣勝負である

質の高い学級集団づくり

日々心をこめて教壇に立つ

授業で子どもは変わる

若手教師が目指したい 算数科授業の在り方

平成27年3月3日（火）
大分市立下郡小学校
学力向上支援教員
指導教諭 中村 雅子